

ガバナー就任挨拶・方針

国際ロータリー第2660地区 ガバナー 簡 仁一
(茨木RC)

2020～21年度 第2660地区ガバナーを務めさせていただきます、茨木RCの簡仁一です。

伝統と格式を保ち、各奉仕部門における活動実績を誇る当地区のガバナーを拝命する事は、身に余る光栄であると同時に、その重責を考えますと身の引き締まる思いです。

パストガバナーをはじめとする諸先輩の皆さまが築きあげてこられました当地区の伝統を守りながら、より一層充実した地区として発展できるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ホルガー・クナックRI会長プロフィール

ドイツ生まれ。1992年にロータリーに入会し、財務長、理事、各種委員会の委員長、規定審議会代表議員、ゾーンコーディネーター、研修リーダー地区ガバナー、2019年ハンブルグ国際大会ホスト組織委員会の共同委員長を歴任されました。現在は恒久基金／大口寄付アドバイザーを務めておられます。

不動産業を営む「Knaack KG」のCEOであり、125年続く家族事業の「Knaack Enterprises」の元パートナー兼ゼネラルマネジャーでもおられます。

スザンヌ夫人とともにメジャードナーで、遺贈友の会会員としてロータリー財団を支援されています。



ロータリーは機会の扉を開く

1月20日に米サンディエゴで開かれました国際協議会本会議におきまして、ホルガー・クナーク氏は、2020-21年度のテーマを「Rotary Opens Opportunities」～ロータリーは機会の扉を開く～と発表されました。

このテーマには、ロータリーがクラブに入会するというだけでなく、無限の機会への招待である、という思いが込められています。例えば、ポリオ根絶のように大規模で歴史的なプロジェクトから、地域社会でのささやかなプロジェクトや1本の植樹まで、奉仕する機会への扉を開いてくれる、ということなのです。

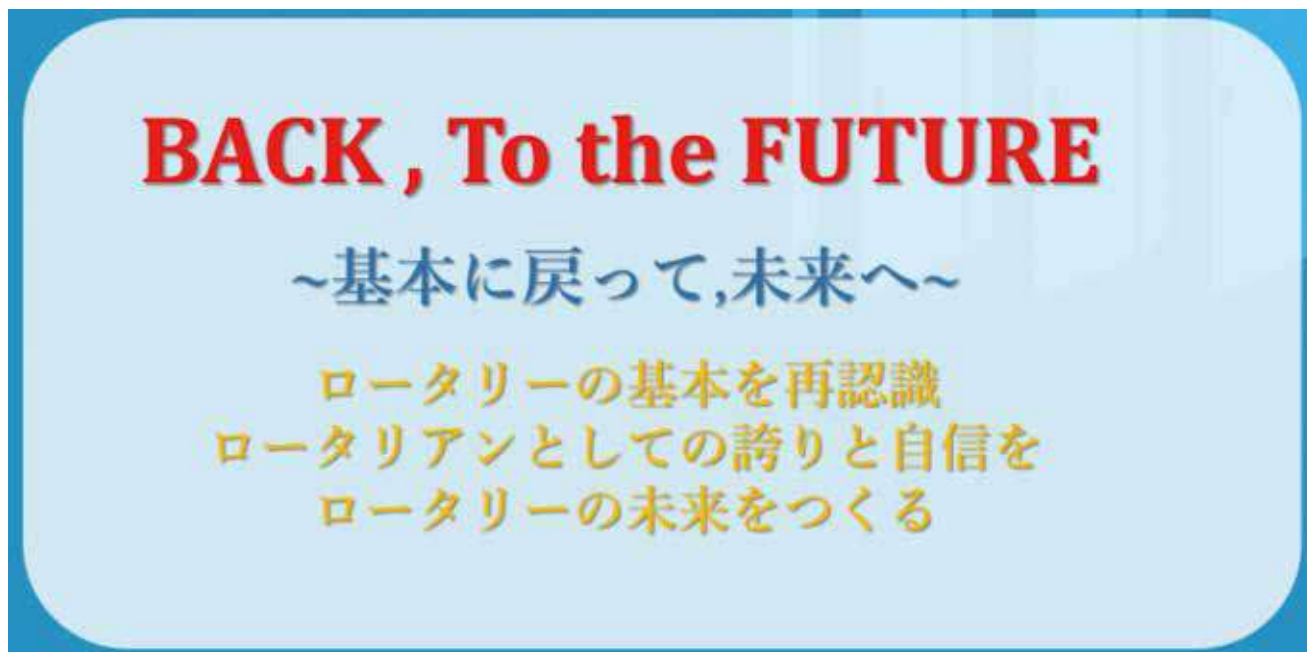
私たちの中核的価値を基に、世界中の友人たちとともに、より豊かで意義ある人生への機会の扉を開いてくれる、また、私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いている、とも強調されました。

ガバナー月信5月号にも記しましたが、このRI会長テーマに基づき、2020-21年度地区年次目標の6項目を掲げました。

1. 会員基盤の強化
2. ポリオの根絶
3. 青少年の活動を支援
4. ロータリー財団活動の推進
5. 米山記念奨学会活動の推進
6. IT化の推進と公共イメージの向上

なお、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑みて、ロータリー財団、米山記念奨学会の寄付目標については、いずれも数値目標を掲げないことにしました。

また、2020-21年度 地区スローガンは、こうした時代だからこそ、ロータリーの基本を再認識し、ロータリアンとしての誇りと自信を持って、ともにロータリーの未来をつくっていかう、との思いを込めて



とさせていただきます。

このスローガンを胸に刻み、クラブの皆さまとともに一歩ずつ歩みながら活動して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

国際ロータリー
第2660地区 ガバナー プロフィール

簡 仁 一 (かん じんいち)



生年月日 1952年4月12日生

職業分類 製造業・電機機器

職 業 平和商事株式会社 代表取締役社長

所在地 〒567-0012 大阪府茨木市東太田3-7-7

経 歴 1976年 慶應義塾大学工学部管理工学科 卒業
日本アジア航空株式会社(現 日本航空) 入社
1996年 平和商事株式会社 代表取締役社長 現在に至る

ロータリー歴 茨木RC入会 1992年2月26日
1996-97年度、2008-09年度 幹事
1998-99年度、2012-13年度 S A A
2000-01年度 副会長
2003-04年度 会長

第2660地区 1997-98年度 財団学友委員会 副委員長
1998-01年度 財団学友委員会 委員長
2007-08年度 財団奨学金・学友委員会 委員長
2014-15年度 IM第2組 ガバナー補佐
2015-18年度 地区研修委員会 委員

その他 ベネファクター
メジャードナー
米山功労者(メジャードナー)

賞 罰 なし